

米国 緩やかな上昇にとどまるコアインフレ(07年5月生産者物価)

発表日：2007年6月14日(木)

～07年8月以降最終財コアの上昇モメンタムは加速するも消費者段階の商品コアへの波及は限定的～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

	生産者物価 (Producer Price Indexes)									
	最終財		コア		エネルギー	中間財		原材料		WTI
06/05	+0.2	(+4.5)	+0.2	(+1.5)	+1.1	+1.2	+1.1	+2.1	+9.2	71.0
06/06	+0.5	(+4.9)	+0.1	(+1.7)	+1.1	+0.5	+0.6	▲2.8	▲1.0	71.0
06/07	▲0.1	(+4.0)	▲0.5	(+0.8)	+0.7	+0.2	+0.5	+2.5	+1.5	74.4
06/08	+0.4	(+3.8)	+0.4	(+1.2)	▲0.5	+0.4	+0.4	+2.6	▲3.4	73.1
06/09	▲1.1	(+0.9)	+0.3	(+1.3)	▲5.9	▲1.3	+0.0	▲3.8	+1.4	63.9
06/10	▲1.5	(▲1.2)	▲0.4	(+1.0)	▲5.8	▲1.2	▲0.1	▲9.1	▲2.7	59.1
06/11	+1.6	(+0.9)	+0.9	(+1.9)	+5.4	+0.6	▲0.4	+11.7	▲0.6	59.4
06/12	+0.7	(+1.1)	+0.1	(+2.0)	+2.4	+0.9	+0.1	+2.5	+1.7	62.1
07/01	▲0.6	(+0.1)	+0.2	(+1.7)	▲4.3	▲0.7	+0.0	▲5.9	+1.8	54.7
07/02	+1.3	(+2.5)	+0.4	(+1.8)	+3.1	+1.0	+0.4	+11.1	+2.3	59.4
07/03	+1.0	(+3.2)	+0.0	(+1.7)	+3.6	+1.0	+0.2	+3.2	+7.7	60.7
07/04	+0.7	(+3.2)	+0.0	(+1.5)	+3.4	+0.9	+0.8	▲1.4	+0.4	64.0
07/05	+0.9	(+4.1)	+0.2	(+1.6)	+4.1	+1.1	+0.4	+2.5	+0.1	63.5

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

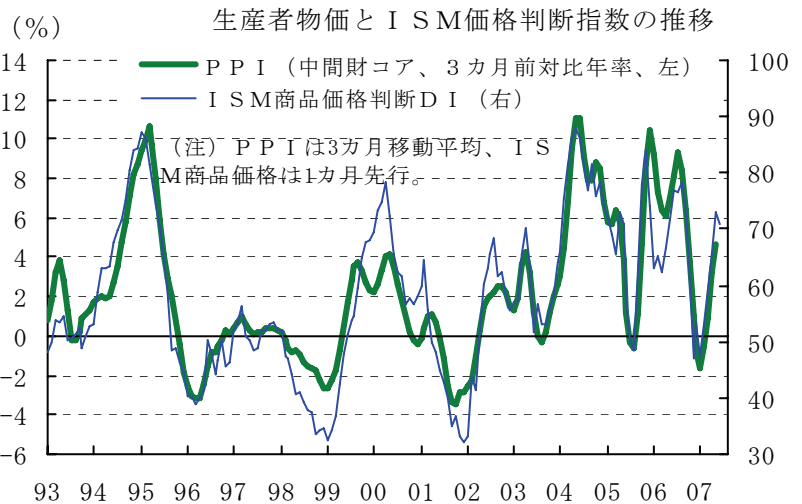
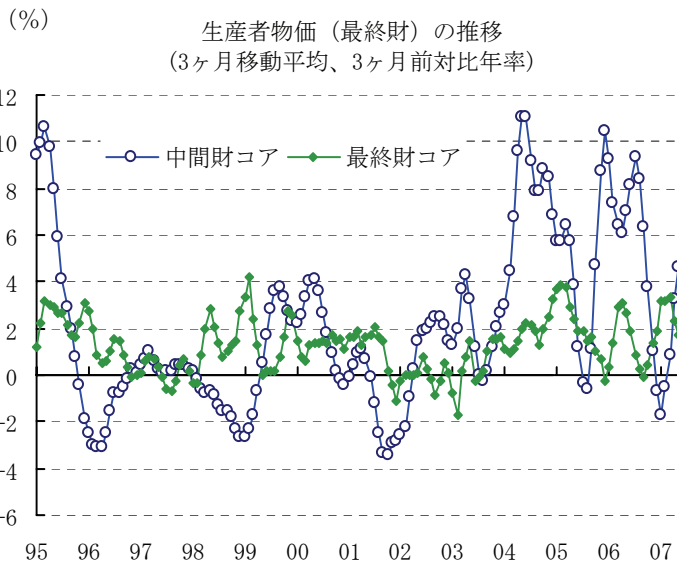
コアは前月比+0.2%と市場予想通り

07年5月の生産者物価(最終財)は前月比+0.9%と加速し市場予想の同+0.6%を上回った。食品が同▲0.2%とマイナスに転じたものの、エネルギー価格が同+4.1%と加速した。一方、変動の大きい食料・エネルギーを除いた生産者物価コア(最終財コア)は、同+0.2%と市場予想通りとなった。競争の激化や生産性の向上等を背景に2004年以降、川中である中間財から川下である最終財への波及は限定的なものにとどまっており、最終財(コア)は緩やかな上昇となっている。

最終財コアは2007年7月まで鈍化した後、年内上昇ペース加速

変動の大きい食料・エネルギーを除いた生産者物価コア(最終財コア)のモメンタム(3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率)は、最終財コアに6ヵ月程度先行する中間財コアが2006年8月から2007年1月にかけて低下したことから、2007年7月まで鈍化傾向を辿ると見込まれる。

2007年8月以降に関しては、中間財コアが2、3、4、5月と上昇したため、最終財コアは2007年8月に上昇に転じた後、12月まで上昇ペースが加速すると予想される。しかし、競争の激化や生産性の向上等を背景に、川中である中間財から川下である最終財への波及が限定的なものにとどまるとみられ、最終財コアは緩やかな上昇になると見込まれる。



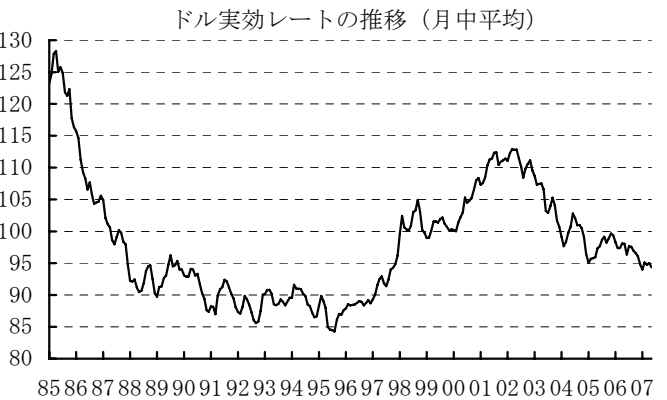
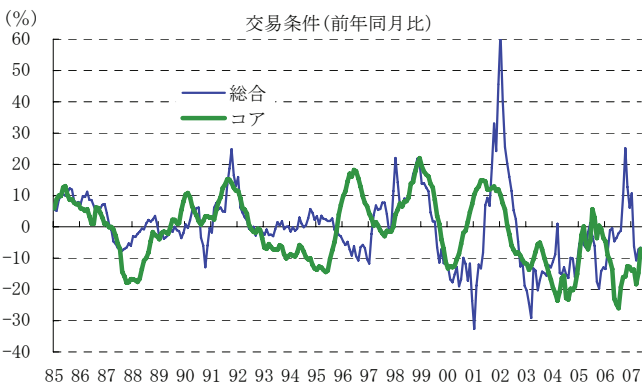
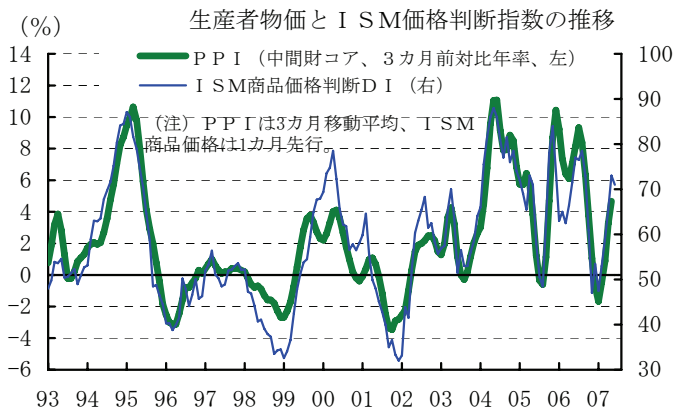
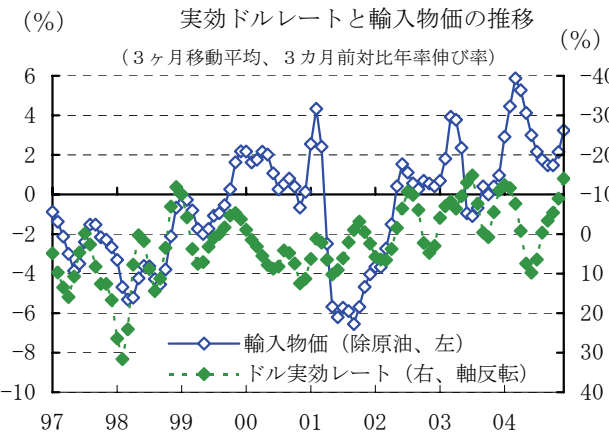
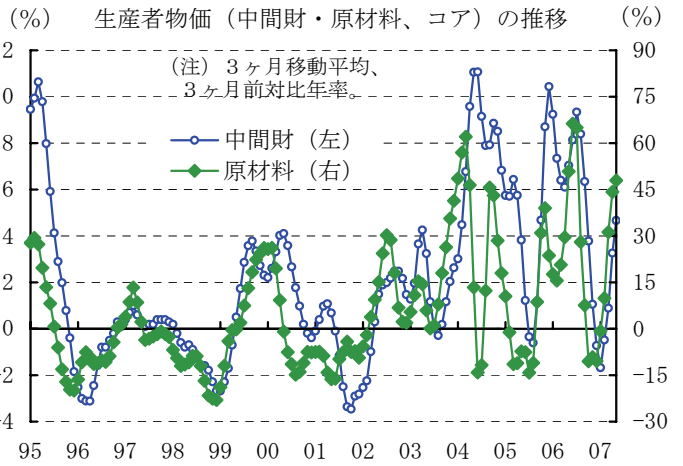
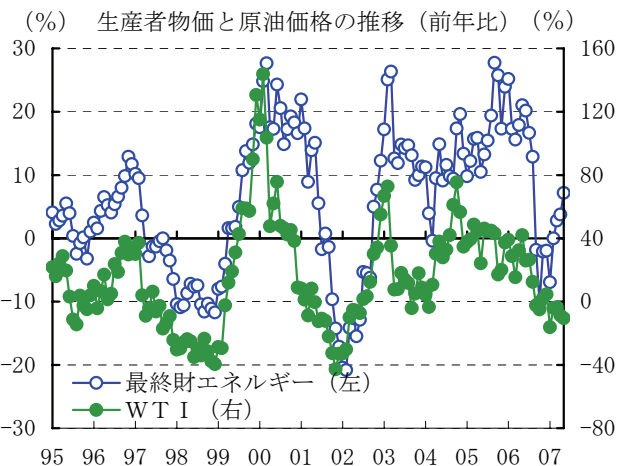
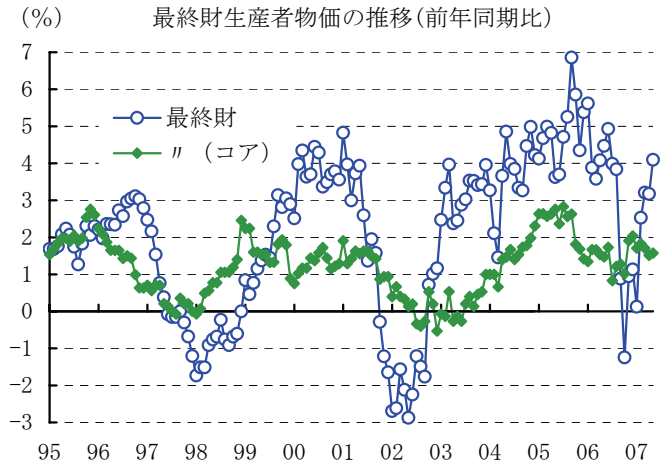
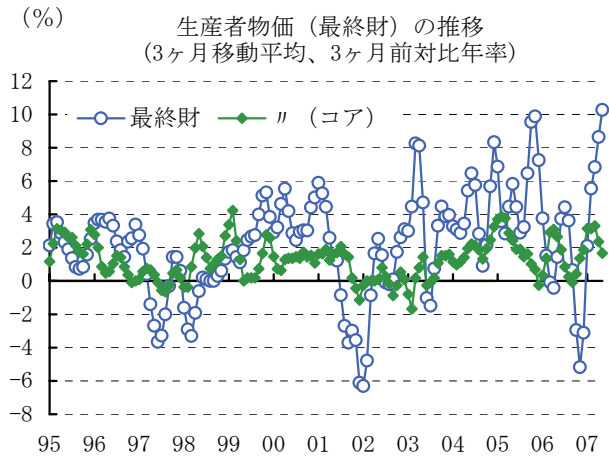
資本財、消費財コア ともに上昇

最終財でのカテゴリー別の動向をみると、食品関連では生・加工野菜、魚と甲殻類等の下落によって食品価格は前月比▲0.2%（前月同+0.4%）と下落した。

エネルギーは前月比+4.1%（同+3.4%）と小幅加速した。ヒーティングオイルが同+2.3%（同+4.8%）と鈍化した一方、家庭用電力が同+0.7%（同+0.3%）、天然ガスが同+0.9%（同+0.5%）、ガソリンが同+10.2%（同+8.2%）と加速した。

消費財（エネルギー・食料品を除く）は前月比+0.3%（前月▲0.1%）とプラスに転じた。乗用車価格が同▲0.2%（前月▲1.0%）とマイナス幅を縮小したうえ、宝石等、移動住宅、タイヤ、玩具・ゲーム、家庭用器具が上昇した。

資本財は前月比+0.1%（同+0.1%）と前月と同率の伸びとなった。コンピューター、金属成型機器、トレーラー、通信機器、X線医療機器が下落した一方、鉱業機器・設備、変圧・動力調整器、金属加工機器が上昇した。さらに、軽トラックの下落ペースが鈍化した。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。